

村盟友締結記念植樹祭などのイベントも行われてきた。

市民団体が公園を利用する際、どのような制限があるのか。また利用手続きの方法は。

物品の販売、業としての写真や映画の撮影、公園の全部または一部を独占して催しを行う場合などは許可が必要。それ以外の場合でも団体利用する際は、公園内行事等届出書の提出が必要になる。

遊具などの設置は。

災害復旧支援の活動空地として整備しているため、設置

新海 真規 議員

障害者差別解消法について、一般市民への認知向上を

法の趣旨や内容を正しく啓発していく

法の施行にあたって国から出された指針の内容はどのようなものか。

「障害を理由とする差別の解消の推進に関する基本方針」が内閣府から示されており、その内容は、法の対象範囲、不当な差別的取り扱いの禁止及び合理的配慮の基本的な考え方、差別の解消に係る施策の推進に関する重要事項等である。

法の施行に伴う新たな経費にはどのようなものがあるのか。

市が主催する講演会等に手話通訳等を派遣する経費を追加計上している。今後も引き続き環境整備を行っていくとともに差別をなくすための個別具体的な配慮を提供していく。

野村 武文 議員

歴史博物館に脚光を

歴史を未来へ継承し、刈谷の魅力を発信する施設になると確信

歴史博物館の建設場所が低地であることに対する水害対策は。

刈谷市洪水ハザードマップ

しないが、大きな芝生広場を活用し、子どもたちの工夫で遊びを創造してほしいと考えている。

大手公園は市の中心部、いわゆる一等地にありながら、あまり活用されていない。魅力的な公園として、市民の利用を促進していくための方策は。

隣接している市民ボランテニア活動センター、国際プラザ、社会教育センターとの一体的な利用を促進するため、ホームページでの紹介や利用案内チラシを作成し、各施設に設置するなどPRを図っていく。

（主な答弁者）・福祉健康部長

法の成立から施行までどのような準備を行ってきたのか。

市の職員による取り組みを確実なものとするため「障害を理由とする差別の解消の推進に関する刈谷市職員対応要領」を策定し、職員研修を実施するなどしている。

市独自の施策はあるか。

基幹相談センターや障害者団体、福祉事業所等で構成される刈谷市障害者自立支援協議会の地域生活部会において、障害者差別解消法の対応方法の周知に関する検討を行うこととしている。また、平成29年度に策定予定である刈谷市障害者計画においても法に対応する内容を盛り込むよう検討している。

（主な答弁者）・市民活動部長

が、若干の盛土によるかさ上げは行う計画である。

地震による液状化の心配は。

専門家によるボーリング調査を行った結果「一部の地層で液状化の発生が懸念されるものの、地盤沈下の影響は少ないと予測される」との報告が出ている。また、地層調査では、敷地内がほぼ同一の地層で構成されていることも確認されている。

歴史博物館の概要と構造上の特色は。

鉄骨鉄筋コンクリート造2階建て、延床面積は4,082

中嶋 祥元 議員

国道23号の側道を市道化し、さらなる交通安全網の整備を

維持管理費の問題なども考慮した上で国と協議していく

国道1号、今川町付近の渋滞解消に向けた取り組みは。

交通量の分散を図るべく、情報提供看板の設置などソフト的な対策を国が検討している。

知立東浦線、昭和町交差点付近の渋滞解消に向けた取り組みは。

交通量調査の結果をもとに交通シミュレーションを実施。道路や交差点の改良について方針を検討している。

先日、国道23号の事故渋滞により、側道まで大渋滞と



国道23号側道の渋滞

7平方メートルで、常設展示室、企画展示室、収蔵庫のほか資料閲覧室、体験学習室、祭り展示室などを設置予定。構造上の特色として、搬入・搬出時に文化財を損傷しないよう天井を高くし通路を広くすること、歴史資料等を適正に保存できるように空調設備を整えることなどがある。

館内展示の種類とその展示計画は。

常設展示は「縄文遺跡」「刈谷藩と城下町」「近代化の萌芽」の刈谷の歴史を特徴づける3つのテーマで構成予定。企画展示は内容を検討中である。

（主な答弁者）・建設部長

23号に乗る前にその状況が分かる仕組みがあれば、渋滞回避の選択肢を増やすことができたと考えている。国道であることは承知しているが渋滞情報などを表示する電光掲示板を付近の県道や市道に設置できないか。

国は国道区域外への設置を行うおらず、今後も設置する予定はないことである。

23号側道について、市道化の検討はしているか。また、市道化することで高架下の防犯の問題や交通安全対策などを早期に改善できると思うが所見は。

関係する沿線市（安城・知立・豊明）で国と協議している。また、市道化することで道路の改良や道路占有許可などの時間短縮が可能となり、利便性の向上につながると考えている。しかしながら、膨大な維持管理費が必要となる懸念があることから、引き続き4市で足並みを揃えて国と協議していく。

稲垣 雅弘 議員

アクティブラーニングでしなやかな学力の修得を

能動的学習で次代を生き抜く力を育む

子どもたちにとっての社会人基礎力と地域アイデンティティ育成についてどう考えるか。

刈谷の子どもたちには「当たり前」があつてほしい「当たり前」であつてほしいと願っており、この姿をめざすことが多様な人々と仕事や行動をしていくために求められる社会人基礎力を育むことにつながると考えている。

子どもたちが成長し、次代の郷土を支える立場になった際、郷土を誇りに、大切に思う心がよりよいまちづくりの原動力になり、本市のアイデンティティづくりにつながるものと考えている。

学力を高めるためのアクティブラーニングによる学習開が進められている。

本市も既に「課題解決学習」に取り組んでおり、知識の修得だけでなく、様々なことを関連づけて考え、意見の交換・調整を行う活動の中で、しなやかな学力を高めている。生徒会サミットの熊本地震支援に代表されるような、授業外でも子どもたち主導で活動の輪を広げる展開が進められている。

公職選挙法で市議会議員は寄附や暑中見舞いを出すことが禁止されています。禁止されている寄附の主なものは左記のとおりです。皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

市議会議員一同

本人が出席しない場合の結婚祝	お祭りへの寄附や差入	病気見舞
お盆	葬式の花輪、供花	本人が出席しない場合の葬式の香典
町内会の集会や旅行などへの寄附や差入	お中元 お歳暮	入学祝 卒業祝